

図書館報 みずもと

第24号
2007年4月

— 目 次 —

- 本学附属図書館へのお誘い
(理事・附属図書館長 田頭 孝介)
- 特集：新入生のための図書館活用ガイド
 - ・大学生活のスタートは図書館から！
 - ・新入生のためのブックガイド
 - ・図書館PC端末室の紹介
- 図書館利用のルールとマナー
- 新着図書紹介

室蘭工業大学附属図書館

本学附属図書館へのお誘い

理事（附属図書館長）田頭 孝介



新 入生・在学生の皆さん

この図書館報「みずもと」は学生の皆さんに読んでいただくように編集されております。私から本学の附属図書館（以下、図書館）を紹介させていただきます。その前に、少しでも自己紹介をさせてください。

私の職業人としてのスタートは1967年です。大学助手、研究所研究員など職場を変えながら、1975年本学助教授（今は廃止となった第二部機械工学科）として室蘭にやってきました。以来30年余り、機械材料学・特殊加工学の教育研究に携わってきました。本学でこんなに長続きしたのは自分でも驚きですが、その理由として、大学周辺の自然環境の良さと安定した気候、よい学生に恵まれたこと、1990年待望の博士課程が設置され研究環境が改善されたこと、国内外から多くの研究協力・支援があったこと、などが挙げられます。

本 学に赴任した当時は

皆さんには想像できないかもしれませんが、今のようない立派な設備や建物は数えるほどしかありませんでした。仕方なく、当時東京中目黒にあった科学技術庁金属材料技術研究所で電子ビーム溶接機を借り、研究をスタートしました。試料作成等には、地元の日本製鋼所、新日本製鐵、北海道大学、北海道工業試験場など多くの皆さんに助けられました。

また、研究に必要な文献や情報収集には、図書館や当時の金属工学科図書室によく通い、学術雑誌を定期的に読ませていただきました。それでも見つからないときは、海外の研究者に航空便で文献の請求をしました。入手するまでどんなに早くても10日間、遅ければ1ヶ月以上待たされました。現在のように、自室のパソコンでお目当ての「電子ジャーナル（後ほど説明します）」にアクセスし必要な論文を入手したり、必要な

ら論文の著者とe-mailで討論するなど、予想もつかない時代でした。

私の研究室に配属された学部・大学院学生のことに触れておきましょう。以心伝心と言うのでしょうか、私の指示が無くても、実験装置の設計・試作、実験マニュアルの作成、後輩の指導など何でも手伝ってくれました。研究室の人材、設備、予算が足りないことに対し、あまり不満を持たずに仕事を続けてこられたのは学生の協力も大きかった、と感謝しております。

最 近の図書館の動き

それでは、私が図書館長になってからの図書館の動きを5点ほど挙げましょう。

まず第1は、法人化前の2003年度に図書館の中期目標・計画を策定し、毎年、自ら点検評価していることです。学生の皆さんにはあまり関係が無いので、詳しい説明は省略します。

第2は、2004年度から電子ジャーナルを本格的に導入し、学内の教育・研究支援体制の強化を図ったことです。これは、学部4年次や大学院の皆さんに密接な関係があります。図書館というと、書籍や雑誌など紙でできた冊子体やCD・DVDしか扱っていないと思っている方が多いのではないのでしょうか。実は、ここ数年で海外の学術雑誌(Journal)は冊子体から電子体、いわゆる電子ジャーナル、に置き代ってしまいました。地方都市でも確実に最新の学術論文を入手できます。本学で契約している電子ジャーナルの種類(タイトル数)は3000余りで、学生・職員は自由に読めます。NatureやScienceも読めます。電子ジャーナルってどうすれば読めるのだろうか、こんな文献を読みたい、など少しでも興味を持った方はぜひ図書館職員に尋ねてください。

第3は、図書館主催で特別講演会を開催したことです。2005年、本学名誉教授大出哲先生から「ケプラー全集」16冊を寄贈いただきました。この全集は、19世紀中頃ラテン語で書かれたもので、全国でも東京天文台その他数大学にしかない貴重な資料です。さっそく、当館2階に展示コーナーを設け市民はじめ学外研究者にも広く開放し、同年秋の文化週間には大出先生による特別講演を実施しました。

第4は、「室蘭工業大学紀要」についてです。本学教員の研究成果は学会等で発刊している学術雑誌や本学紀要などに掲載されております。図書館委員会では、2006年度から従来の学術論文以外に技術報告と教育改善報告を新しいジャンルに加え、電子出版しております。ぜひ、図書館のHPを通して読んでみて下さい。先生方の教育・研究への情熱が伝わってきます。

第5は、2006年度から蓋付きペットボトルに限り館内での飲用を認めたことです。場所の制限はありますが、長時間学習される皆さんの水分補給等を考慮したものです。

さらに使い易い図書館にするために

かつてはどこの図書館も「書籍、書庫そして閲覧室」で成り立っていました。電子ジャーナルや電子書籍の普及で、図書館の機能・役割もいつの間にか大きく変わりつつあります。当図書館内の蔵書管理は電子化されており、必要な書籍を手元のパソコンで自由に検索できます。さらに、他大学附属図書館の蔵書も検索できます。これからの大学附属図書館は電子化された知的学術情報の受発信基地としての役割を目指すことになるでしょう。

そのほか取組むべき課題として、単位互換協定大学や国際交流協定大学との共有情報の整備、電子ジャー

ナル等の検索システムの充実、本学教員の講義録や、本学主催のシンポジウム等のテキスト収集、学内配本/返本サービスの普及、公共図書館とのネットワーク構築、などがあります。図書館が本学学生、職員そして地域住民の学習・教育・研究活動を支える重要な施設となるよう努力してまいります。

最後に皆さんに一言

大学の成績優秀者が必ずしもよい技術者になるとは限りません。知力（時には学力）レベルは高いに越したことはありませんが、低いことをさほど苦にすることもありません。卒業後、良き社会人・職業人として生きるために、知力だけでなく、気力、体力、会話力の「4力」の充実に努めてください。知力の涵養という点では、在学中に自信のある科目（好きな科目）を数科目見つけること、専門以外の学問にも興味を持つことです。趣味やクラブ活動への熱中、友人との議論、体力の向上、も大切です。そのために、学内の図書館、情報メディア教育センター、体育館、ものづくり基盤センターなどを有効に使ってください。

私はまもなく職業人としての人生に区切りをつけ、これからは社会人としての品格を高めるため衰えつつある4力の維持・向上に努める予定です。残された時間は短いので中途半端で終わるかもしれませんが……。学生の皆さんは前途洋々です。失敗を恐れず、新しいことに挑戦してください。知らぬ間にきっとバランスよく4力が付いてくるはずですよ。



大学生活のスタートは図書館から！～はじめての図書館利用 ABC～

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。このページでは”図書館利用の基本”をご案内しています。大学図書館は、自習や試験勉強のための場所を提供しているだけではありません。レポートや試験勉強に必要な資料はもちろんのこと、大学生活をサポートするさまざまな情報を得ることができる場所です。本や雑誌のほか、電子媒体の情報も大学図書館では提供しています。まずは図書館へお越しください！みなさんの生活に役立つ情報が必ずあると思います。積極的に活用し、充実した大学生活を送ってくださいね。

はじめに ～ 図書館利用証をお渡しします

まずは、図書館のカウンターへ。みなさんの名前が入った図書館利用証をお渡しします。

図書館利用証は 1.入館のとき 2.図書を借りるとき 3.個室・グループ学習室・視聴覚室を利用するとき
に必要ですので、必ず携帯してください。

入館と退館

入館ゲートで図書館利用証を読み込ませるとゲートが開いて入館することができます。

利用証を忘れた場合はサービスカウンターに声をかけてください。

館内の図書を持ち出すときには、必ず借用手続きをおこなってください。

手続きをおこなっていないと、退館の際にブザーがなります。

本を探す

図書館内の図書は、日本十進法と呼ばれる分類方法で主題別に書架に並んでいます。探している図書があったら、館内の十進分類表をみて、関連主題の書架を見てください。室蘭工業大学の専門分野である、400～：自然科学、500～：工学は1階に、それ以外の主題の図書は2階にあります。

また、OPAC(蔵書検索システム)を使って、図書館や大学内で所蔵している約 30 万冊の資料を探すことができます。

OPAC はウェブ上で公開していますので、図書館はもちろん、研究室や自宅からも利用することができます。

室蘭工業大学 OPAC(蔵書検索システム)

<http://svopac.lib.muroran-it.ac.jp/>

<OPAC(蔵書検索システム)>



<自動貸出返却装置(ABC 装置)>



本を借りる

学部学生は 5 冊まで、14 日間の期限で本を借りることができます。

借用の際はカウンター職員に借りたい本と図書館利用証を渡すか、またはカウンター横にある自動貸出返却装置(ABC 装置)を利用してください。

また、予約が入っていない場合1回に限り更新をして貸出期間を延長することができます。手続きはカウンターで受け付けています。

〈こんなサービスも〉

- 予約** 一借りたい本が貸出中の場合、貸出予約ができます。OPAC(蔵書検索システム)で予約したい図書を検索し、検索結果画面の右上に表示される「貸出予約を行う」から予約手続きをおこないます。予約はサービスカウンターでも受け付けています。
- 図書購入リクエスト** 一図書館に所蔵していない図書で、学習または教養に必要なものがあれば、購入をリクエストすることができます。その中から図書館が毎月選定をおこなっています。館内のアンケートBOXか、図書館ホームページからリクエストしてください。

・本を返却するときは

自動貸出返却装置(ABC装置)、カウンターで受け付けます。また、休館日や閉館時間帯には返却ポストから資料の返却ができます。図書館正面玄関右横にある返却ポストをご利用ください。

* 返却期限を過ぎると、過ぎた日数だけ本が借りられなくなります、気をつけましょう！

学習室を利用する

グループ学習室(2室)、個室(4室)があります。

グループ学習室は10名程度までの学習に適した施設で、ホワイトボードやプロジェクターを利用することができます。利用手続きはサービスカウンターで受け付けています。

〈グループ学習室(A)〉



視聴覚資料を利用する

語学資料や、映画等のAV資料があります。

利用手続きはサービスカウンターで受け付けています。

図書館カウンターを利用する

わからないことや、困ったことがあったら、遠慮せずに図書館のサービスカウンター職員に声をかけてください。例えば以下のような場合に、みなさんのお手伝いをします。

・必要な資料がうまく探せないとき

カウンター職員が資料の所在を探します。また、自分の研究分野や興味のある分野の資料をどのようにしたら効率的に探せるか、わかりやすくご説明します。

・必要な資料が室蘭工大にないとき

本学にない場合は他機関から借用したり、複写依頼するサービスがあります(複写料や送料がかかります)。

・データベースや電子ジャーナルを使いたい

大学図書館では本だけではなく、研究のためのデータベースや、インターネットで利用できる電子ジャーナルを下記のサイトから提供しています。利用方法をカウンターでご案内します。

〈図書館サービスカウンター〉



室蘭工業大学附属図書館ホームページ

<http://mitlib.lib.muroran-it.ac.jp/>

新入生のためのブックガイド

春、大学生として新生活をスタートされるみなさん、ご入学おめでとうございます！

図書館にはみなさんの大学生活に役立つ資料がいっぱいです。今回はテーマ別に、はじめての1冊におすすめの本を紹介してみます。

・大学生はどう勉強するの？

大学生になると、それまでとは授業の形式や学習の仕方が変わってくるとおもいます。そんなときに頼りになるのが、「大学生の学び方ガイド」系の本です。中学・高校までと大学の違いからはじめて、ノートの取り方やレポート・論文の作成方法等をおしえてくれるとても便利な本です。大学図書館のつかいかたも書いています。とても役に立ちますのでぜひ一読を。



←「知へのステップ 大学生からのスタディスキルズ 改訂版(学習技術研究会編著)」

大学生活を送る上で必要な事項がまとまっている本です。1冊で学生時代の学び方をほぼカバーしています。

→「図書館のプロが教える“調べるコツ”—誰でも使えるレファレンス・サービス事例集

(浅野高史・かながわレファレンス探検隊著)」
こちらは公共図書館の現場発の調べ方事例集です。「一生つかえる」調べる技術が学べます。誰でも使えるわかりやすさも好印象です。



・資格試験に興味はありませんか？



大学在学中に資格の取得を目指す方も多いとおもいます。

図書館には資格試験に役立つ本がいろいろあります。英語によるコミュニケーション能力を評価するTOEICは、試験方式に変更があったばかりですので、新しいものを選ぶことをお勧めします。

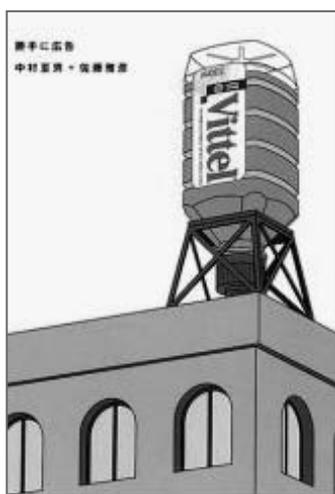
←「TOEICテスト新公式問題集(Educational Testing Service著)」

TOEICテストを開発したETSによる公式問題集です。2006年5月(団体受験の場合は2007年4月)以降の新テストに対応。同じ問題形式・問題数で、本番同様のクオリティの問題集です。

・専門以外の本も読んでみよう

学生は専門の勉強だけをしていればよいのでしょうか。いいえ、よくありません。読書は心を育ててくれるもの。ぜひ学生生活に読書の時間をもって下さい。

人文・社会科学ならコンパクトなサイズで基本が学べる「有斐閣アルマ」、絶妙のセンスが刺激的な広告美術本「勝手に広告」、文学なら有名作家の自選による「はじめての文学」シリーズなど、専門の勉強以外の本もいろいろありますので、興味を持った本にとりあえず触れてみてはいかがでしょうか。ちなみに担当の最近のヒットは森見登美彦の「夜は短し歩けよ乙女」です。

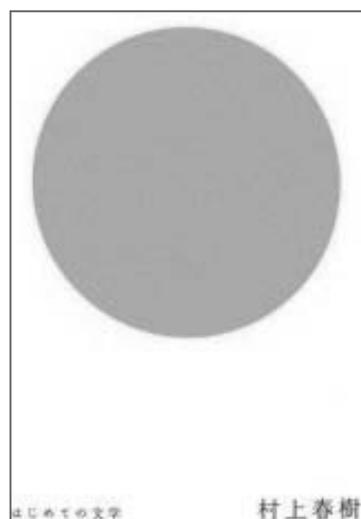


←「勝手に広告(中村至男;佐藤雅彦著)」

企業の広告要素をつかった最高のアート表現集です。笑いと驚きの連続。どうやったらこんなことが思いつくのでしょうか。アートのプロの仕事にクラクラしてしまいます。

→「はじめての文学 村上春樹(村上春樹)」

小説の面白さ、楽しさを味わうために、著者が自選した中短編集です。はじめてのひとつも、春樹ファンのひとつもどうぞ。村上龍、よしもとばなの同シリーズもあります。



・健康あつての大学生活です



学生生活は体が資本。はじめてのひとり暮らしで特に注意したいのは食生活です。つついコンビニやファーストフードで済ませがちですが、それでは飽きてしまいますし、体にもやさしい生活とはいえません。図書館には手間のかからない、かんたんな料理の本もありますので、自炊に挑戦してはいかがでしょうか。

←「祝ひとり暮らし 自炊をしよう！—かんたん、うまいっ、安上がり(奥菌寿子著)」

「ナマクラ流ズボラ派」料理研究家が初めて自炊をするひとのために、かんたんでおいしい、アイデアレシピとテクニックを伝授する料理入門書です。少しでも自炊で自分の体を大切に、生活人として自立して欲しいという思いがこもっています。

・まとめ

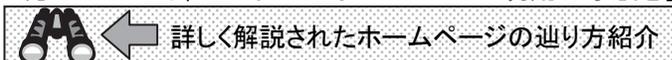
図書館では今回の記事のテーマに沿って企画展示コーナーを設置しています。春は本との出会いの季節でもあります。ぜひご利用ください。

図書館 PC 端末室の紹介

図書館には1階のパソコンコーナーに6台、2階のマルチメディア学習室に10台、情報作成室に18台のパソコンが置かれています。センター端末として利用できます。

ここでは利用ガイドとして、パソコンやプリンターを使う上での注意事項をご紹介します。

詳しい使い方については、センターのホームページ「利用の手引き」などをご覧ください。

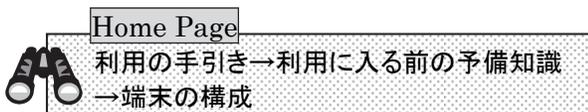


パソコンの利用について

●ファイルの保存場所

このパソコンは、ハードディスクにファイルなどを保存しても次回起動時には消えてしまいますのでご注意ください。

保存はネットワークを通して、ファイルサーバに保存(Zドライブに割り当て済)してください。「マイドキュメント」に入れても、ファイルサーバに保存されます。



●ロックをかけよう

途中でパソコンを離れる時には必ず「ロック」してください。

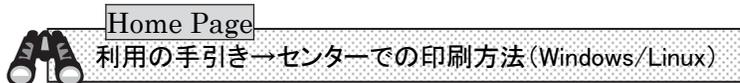
Windows ならキーボードの「Ctrl」キーと「Alt」キーと「Delete」キーを押し、Linux ならメニューバーの「アクション」にある「画面のロック」を選択してください。

ロックしないで誰かに使われた場合、何かトラブルがあっても全てあなたの責任です。ご注意ください。

●シャットダウン, 少し待って

シャットダウンをかけたあと、何らかの理由でエラーが起きて、ログアウトしないでそのままになってしまう場合があります。できれば画面が消えるまで、少なくともログアウトするまでは見ていましょう。

プリンターについて

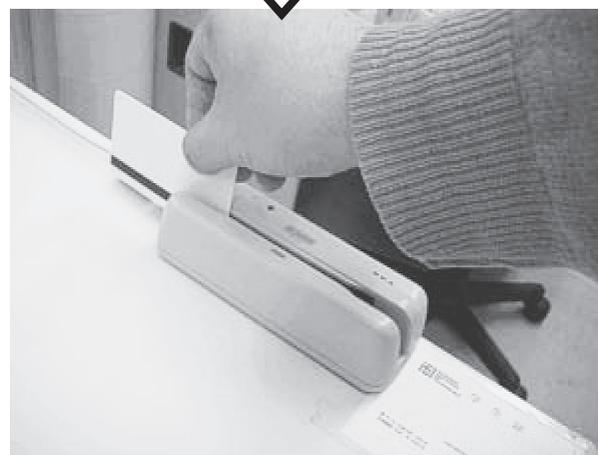
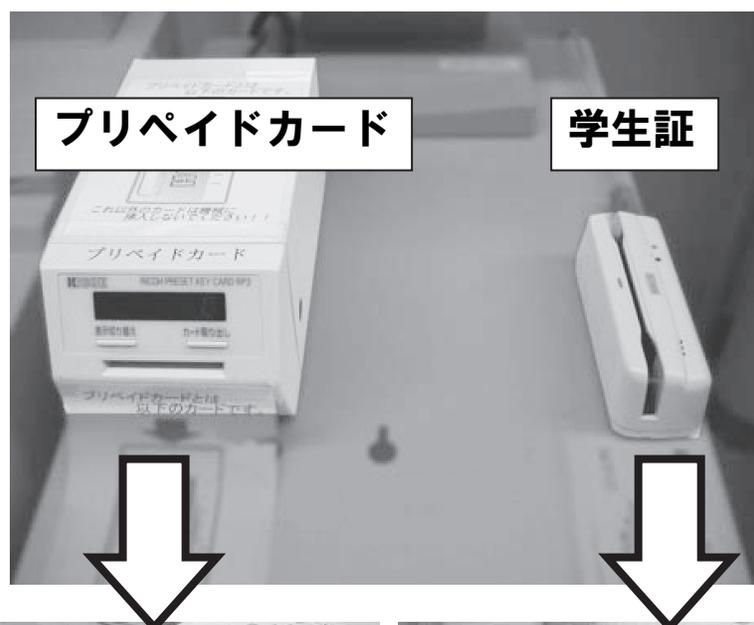


●料金が違います

モノクロ(白黒)かカラーか、また用紙の大きさ(A4か A3)により料金が違いますのでご注意ください。

●カードを間違えないで

2種類のカードリーダーがあります。このうち機械の中に挿入するのは「プリペイドカード」です。間違えて学生証やクレジットカードなどを入れると、出てなくなります。くれぐれも間違えないでください。



プリペイドカードリーダーにはその他のカードを入れないでください。

端末室でのルール

端末室の機材も部屋もあなたの専用ではありません。みんなで利用するものですので、ルールを守りましょう。

飲食禁止

端末室では一切飲食を禁止しています。



Home Page

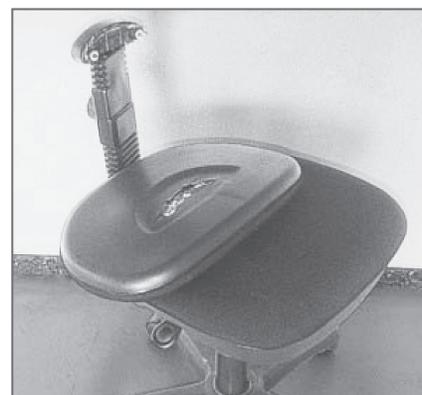
センタートップ→利用に当たっての注意

勉強や研究以外の利用は禁止

アダルトサイト閲覧、ネットショッピングなどはもちろん、SNS(ミクシィなど)の利用なども禁止しています。

イスにご注意を

他の端末室に比べ、図書館はイスの背もたれがよく壊れます。このイスはリクライニング機能がありませんので、無理に背もたれに寄りかからないで下さい。



心がけよう！

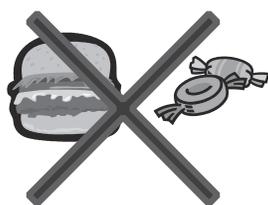
図書館利用のルールとマナー

図書館には、皆さんのような学生さんの他にも、教員や研究者、地域の住民など、学内外を問わず多くの利用者が訪れます。館内では、以下のようなルールやマナーを守り、他の利用者の迷惑にならないように心がけましょう。

- 図書館を利用するには必ず利用証を携帯しましょう。
- 利用証や借りている図書を他人に貸さないようにしましょう。
- 図書を書架へ戻す時には元あった場所に戻しましょう。
- 図書の返却期限を守りましょう。
- 荷物や貴重品は、自分の責任で管理しましょう。
- 館内では私語を慎みましょう。
- 館内での飲食、携帯電話の利用はできません。

図書館の中は飲食禁止です。

図書館では、資料や閲覧席の汚染・汚損防止、コンピュータや電子機器を設置している等の理由から、館内での飲食を禁止しています。ただし、キャップ付の飲料(ペットボトル等)に限り館内への持ち込み、閲覧席で飲んでも良いことにしています。



食事は一切できません。
お菓子もご遠慮ください。



缶、紙パック、紙コップ飲料は、
館内へ持ち込みできません。



キャップ付 O.K!
必ずキャップを
閉めて！

キャップ付の飲料に限り、
館内へ持ち込みできます。

新

着

図

書

紹

介

「渋滞学」

西成活裕著 新潮社 2006.9 (配架場所:1F開架書架 410/N85)

人、車、インターネット…渋滞は何故起こるのか？渋滞発生メカニズムから解決策までを数学的にとらえ、身近にある例を取り上げながら学問として渋滞を考えた一冊。図やグラフも多く載っているためわかりやすい作りになっています。TV番組でも取り上げられた今注目の学問なので、一度目を通してみてはいかがでしょうか。



「NHKラジオ 徹底トレーニング英会話」

日本放送出版協会編 (配架場所:2F教養雑誌コーナー)

NHKラジオ第2放送で放送中の同番組のテキスト版。難しい語彙や文法ではなく、一般的な言い回しが中心のケース会話をメインにしているので、自然な英語の流れの中で身につけられます。また別売りのCDも所蔵しているので、より効果的なトレーニングが可能です。



「がんばれ自炊くん！ ビギナー編・グルメ編」

ほぼ日刊イトイ新聞編 角川書店 2006.2-2006.4

(配架場所:ビギナー編, グルメ編ともに 2F文庫新書コーナー)

「ほぼ日刊イトイ新聞」に連載された記事の文庫版。安い食材で手軽においしくできる料理が、和食・洋食・中華を問わず、ごはんのおかずからお酒のおつまみまで、いろいろな料理が紹介されています。これから自炊を始めた方におすすめの一冊です。



「大学生と著作権」

神谷信行著 ナカニシヤ出版 (配架場所:2F開架書架 021.2/Ka39)

大学生ともなれば、卒論は勿論、レポートや発表などでも他人の著作物を引用する機会が増えると思います。そんな時に気になるのが著作権です。なぜ著作権が保護されなければならないのか、どのような行為が著作権法に抵触するのか、などを大学生の身近にあることを例に解説しています。村上春樹著『海辺のカフカ』をテーマにした章もあるので、そちらを読んでからこの本を読むといいかもしれません。



平成19年度前期 図書館開館カレンダー

開館 時間 区分	1 2 9:00~21:00	1 2 9:30~17:00	1 2 休館日
	1 2 9:00~17:00	1 2 10:30~17:00	

4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28*
29*	30	31				

5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4*
5*	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

*印のついた日は定期試験のため、開館時間は以下のとおり延長します。
土曜日/9:00~21:00 日曜日・祝日/10:00~21:00

編集発行 室蘭工業大学附属図書館

〒050-8585 北海道室蘭市水元町27番1号

TEL : 0143-46-5189 FAX : 0143-46-5196

図書館のホームページ <http://mitlib.lib.muroran-it.ac.jp/>